子どもの育ちを保護者に伝えるには

【目的】

日々の保育の中で見られた子どもの育ちを、 保護者にどのように伝えるかを考え、 ともに成長を喜び合えるようにする

【準備物】

- ・園内研修の手引き
- ・中の付箋(2色)
- ・大の付箋(1色)
- ・模造紙(グループ数)
- ・ペン(人数分)



【研修時間】 60~90分

高知県教育委員会事務局 幼保支援課

「親育ち支援」とは

- 親が子育てを通じて、子どもの成長や子育てを 楽しんでいけるように支援していくこと
- ・親の子育て力の向上



保育者は 「親育ち支援」を行う 重要な存在です



保育所・幼稚園等では、子どもの保育と同時に、施設に通う子供たちの保護者や地域に暮らす子育て家庭に対する支援が求められています。 保育者は、その専門性を生かして、保護者に寄り添いながら支援を行う ことが必要です。

【目的】

日々の保育の中で見られた子どもの育ちを、 保護者にどのように伝えるかを考え、 ともに成長を喜び合えるようにする

どんなささいなことでもいいので、

子どもの育ちを見逃さない

ことが大事です

【準備物】

- ・園内研修の手引き
- ・中の付箋 2 色 (スライドでは黄色・青色)
- 大の付箋1色 (スライドでは桃色)
- ・模造紙(グループ数)
- ・ペン(人数分)





1 うれしかったことを書く(5分)

OOちゃんO歳児着替えの時、今日は一人でがんばって着替えようとしていた。

子どもの姿

- ・成長したなと思うこと
- ・友だちとの関わりの中 で見つけたこと

保護者にぜひ伝えたいと思ったこと 印象に残ったこと

いつもはすぐに保育者に「やって」と言ってくるのに、 今日は保育者がそばにいても「やって」と言わないで、 自分でやろうとする姿が見 えたから。

うれしかった 印象に残った理由



2 子どもの育ちを共有する(20分)

〇〇ちゃん〇歳児着替えの時、今日は一人でがんばって着替えようとしていた。

いつもはすぐに保育者に 「やって」と言ってくるのに、 今日は保育者がそばにいても 「やって」と言わないで、自分で やろうとする姿が見えたから。

①子どもの育ちについて

- ・どのような育ちが あったのか
- どのような力が育とうとしているのか

②保育者の関わりについて

- 保育者はどんな関わりを してきたのか
- その姿が見られたとき、どんな関わりをしたのか

幼児教育において育みたい資質・能力の整理

以学 上 校

環

境

を

通

て

行

う

幼

児

教

育

知識・技能

思考力・判断力・ 表現力等 学びに向かう力・ 人間性等

※下に示す資質・能力は例示であり、遊びを通しての総合的な指導を通じて育成される。

知識・技能の基礎

(遊びや生活の中で、豊かな体験を通じて、何を感じたり、 可に気付いたり、何が分かったり、何ができるようになるのか

> ・基本的な生活習慣や生活に必 要な技能の獲得・身体感覚の育成

- ・規則性、法則性、関連性等の発見
- ・様々な気付き、発見の喜び
- ・日常生活に必要な言葉の理解
- ・多様な動きや芸術表現のための基礎的な技能の獲得

遊びを通しての 総合的な指導 思考力・判断力・表現力等の基礎

(遊びや生活の中で、気付いたこと、できるようになったことなども使い →ながら、どう考えたり、試したり、工夫したり、表現したりするか)

・試行錯誤、工夫

- 予想、予測、比較、分類、確認
- ・他の幼児の考えなどに触れ、新しい考えを 生み出す喜びや楽しさ
 - 言葉による表現、伝え合い
 - ・振り返り、次への見通し
 - ・自分なりの表現
 - ・表現する喜び等

・思いやり ・安定した情緒 ・ 自信

- ・相手の気持ちの受容 ・好奇心、探究心
- ・葛藤、自分への向き合い、折り合い
- ・話合い、目的の共有、協力
- ・色・形・音等の美しさや面白さに対する感覚
- ・自然現象や社会現象への関心

等

学びに向かう力・人間性等

(心情、意欲、態度が育つ中で、いかによりよい生活を営むか)

・三つの円の中で例示される 資質・能力は、五つの領域の 「ねらい及び内容」及び「幼児 期の終わりまでに育ってほし い姿」から、主なものを取り出 し、便宜的に分けたものであ

教 育 ~

2 子どもの育ちを共有する(20分)

〇〇ちゃん〇歳児着替えの時、今日は一人でがんばって着替えようとしていた。

子どもの育ちについて

- 自分でやってみようと する気持ち
- ○○の力が育とうと している

いつもはすぐに保育者に「やって」と言ってくるのに、 今日は保育者がそばにいても「やって」と言わないで、 自分でやろうとする姿が見え たから。

②保育者の関わりについて

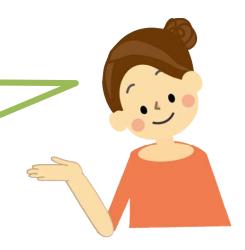
- ・少しでも、自分でやろうとしている ことは、「頑張っているね。」「でき たね。」などと、言葉をかけ、一緒 に喜んだ
- ・このときは、静かに見守った
- ※①、②については、直接模造紙に書き込んでください。



3 保護者への伝え方を考える(20分)

子どもの育ちや保育者の喜びを、 保護者に伝えましょう

いつ、どのような<mark>方法</mark>で、 どのような<mark>内容</mark>で伝えますか





3 保護者への伝え方を考える(20分)

①子どもの育ちを 必ず入れる 一人でできたとういう本人の達成感や 保育者も子どもと一緒に喜んだことを、 降園時に保護者に伝えよう



「今日は、<u>一人で一生懸命、着替えようとしていました。自分でやろうとする気持ちが育ってきているのがうれしかったので、見守っていました</u>。すごく真剣だった顔ができたときに素敵な笑顔に変わりました。〇〇ちゃんのうれしそうな顔を見て、私もうれしくなって、<u>一緒に喜びました</u>。」

【伝える方法】

- ・連絡帳
- ・おたより
- ・ドキュメンテーション など

②保育者の関わりを必ず入れる



4 保護者への伝え方で大事にしたいことを考える

保護者に伝える時に、 大事にしたいことは何ですか?

気付いたことを話してみましょう





保護者に伝えるときに大事にしたいポイント

【内容のポイント】

- ★子どもの育ち(具体的に)
- ★保育者の関わり(子育てのヒントに)
- ★保育者の喜び・願い(子育ての喜びに)
- ★保護者へのメッセージ(お願いではなく、 共に子育てしている仲間であることを意識して) 等

【伝え方のポイント】

対面では

- ◆立つ場所(安心できる距離感)
- ◆表情、声のトーン(相手に合わせて)
- ◆保育者の自己開示

日々の積み重ねに よって、保護者との 信頼関係が築かれる

書面では

- ◆簡潔であるか(文字の多さ)
- ◆事実なのか想像なのか

- ◆様子がわかるか
- ◆思い込みはないか



保護者に伝えるときに大事にしたいポイント

○生活や遊びを通した日々の保育を 見通しをもって積み重ねる

子どもの遊びには 必ず学びや育ちがある!

○子どもの行動の意味や内面の 解説をする

○保育の意図を具体的に伝える

他の子どもと比べず、 その子らしい育ちを認め、 具体的に伝えていくこと

日々の保育の充実が、保護者の安心と 園への信頼につながります



教育・保育

子どもの育ちを 支えるための 保育内容の充実を図る 保育者が保護者に 共感し、肯定的に捉え、 保護者の力を引き出す

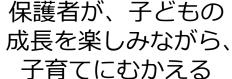
親育ち支援



子どもたちの 健やかな育ち のため



家庭との連携が 図られ、更なる 保育内容の充実に つながる





「子育てに役立つコツ」を 動画で紹介します!

- ★「イヤイヤ期」の子育て
- ★叱ること・ほめること
- ★寝かしつけ
- ★スマホ時代の子育てを考える
- ★きょうだいとの関わり







↑ こちら







今日の学びで明日からやってみたいこと



- ★今日から1週間、やってみたいこと、やれそうなことを 具体的に1つだけ書いてみましょう
- ★やってみたことで、気がついたことをお互いに話してみましょう

【例】・必ず、保護者の顔を見て挨拶する

- ・1日1人、子どものいいところを保護者に伝える
- ・1日1ページ、指針の子育て支援のところを読んでみる
- ・1日1回、○○君に笑顔ビームを送る 等





高知県教育委員会

